

【基本目標】芸術・文化，スポーツを発信する街さっぽろ

【重点戦略課題】芸術・文化の薫る街の実現

現 状 と 課 題	参 考 デ ー タ																								
<p>芸術・文化への関心の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の関心は、心のゆたかさへ向けられてきており、その糧ともいえる芸術・文化は、都市としての魅力や個性を形づくる重要な要素の一つとなっている。</li> <li>・そのため、札幌のゆたかな緑や自然環境を生かして、市民が気軽に芸術・文化に触れ、親しむことのできる環境づくりを進めるとともに、地域づくりやまちづくりにつなげていくことが求められている。</li> </ul>	<p>学習 研究の種類別行動者率</p> <table border="1"> <caption>学習 研究の種類別行動者率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>全国平成 8年</th> <th>全国平成 13年</th> <th>札幌大都市圏 (注 2)平成 8年</th> <th>札幌大都市圏 (注 2)平成 13年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外国語</td> <td>9.4</td> <td>10.7</td> <td>9.1</td> <td>9.6</td> </tr> <tr> <td>人文 社会・自然科学</td> <td>8.3</td> <td>8.4</td> <td>8.2</td> <td>8.1</td> </tr> <tr> <td>芸術・文化</td> <td>6.1</td> <td>9.5</td> <td>5.2</td> <td>8.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会生活基礎調査（総務省統計局：注 1）</p>	種類	全国平成 8年	全国平成 13年	札幌大都市圏 (注 2)平成 8年	札幌大都市圏 (注 2)平成 13年	外国語	9.4	10.7	9.1	9.6	人文 社会・自然科学	8.3	8.4	8.2	8.1	芸術・文化	6.1	9.5	5.2	8.7				
種類	全国平成 8年	全国平成 13年	札幌大都市圏 (注 2)平成 8年	札幌大都市圏 (注 2)平成 13年																					
外国語	9.4	10.7	9.1	9.6																					
人文 社会・自然科学	8.3	8.4	8.2	8.1																					
芸術・文化	6.1	9.5	5.2	8.7																					
<p>施設の充実と各種事業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術の森，キタラをはじめとして，レベルの高い芸術・文化施設が充実しており，これらの施設を中心として，各種芸術・文化事業が展開されている。</li> <li>・今後さらに，札幌の都市個性として魅力を高めていくためには，優れた芸術・文化を鑑賞する機会の一層の充実に努めるとともに，札幌の芸術・文化振興の担い手を育成し，札幌ならではの芸術・文化を発信していく必要がある。</li> </ul>	<p>主要芸術・文化施設の利用状況</p> <table border="1"> <caption>主要芸術・文化施設の利用状況 (万人)</caption> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>12年度</th> <th>13年度</th> <th>14年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芸術の森</td> <td>26.5</td> <td>28.5</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>キタラ</td> <td>37.5</td> <td>36.3</td> <td>38.4</td> </tr> <tr> <td>教育文化会館 (注 3)市民ギャラリー</td> <td>46.3</td> <td>49.3</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>写真ライブラリー</td> <td>14.5</td> <td>14.5</td> <td>14.3</td> </tr> <tr> <td>文化財施設</td> <td>32.0</td> <td>33.4</td> <td>34.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>札幌市市民局生活文化部</p>	施設	12年度	13年度	14年度	芸術の森	26.5	28.5	32.1	キタラ	37.5	36.3	38.4	教育文化会館 (注 3)市民ギャラリー	46.3	49.3	4.1	写真ライブラリー	14.5	14.5	14.3	文化財施設	32.0	33.4	34.0
施設	12年度	13年度	14年度																						
芸術の森	26.5	28.5	32.1																						
キタラ	37.5	36.3	38.4																						
教育文化会館 (注 3)市民ギャラリー	46.3	49.3	4.1																						
写真ライブラリー	14.5	14.5	14.3																						
文化財施設	32.0	33.4	34.0																						
<p>市民の主体的な活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民自らが文化活動を実践し，楽しむ表れとして，市民レベルの音楽，演劇等の公演や絵画の展覧会などが市内各所で行われている。</li> <li>・今後さらに，市民相互の連携や主体的な取組の機運をさらに盛り上げるためには，市民の主体的な活動を支援するための仕組みづくりや，ネットワークづくりを進める必要がある。</li> </ul>	<p>趣味 娯楽の種類別行動者率</p> <table border="1"> <caption>趣味 娯楽の種類別行動者率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>全国平成 8年</th> <th>全国平成 13年</th> <th>札幌大都市圏 (注 2)平成 8年</th> <th>札幌大都市圏 (注 2)平成 13年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美術鑑賞</td> <td>21.1</td> <td>20.5</td> <td>21.4</td> <td>22.3</td> </tr> <tr> <td>演芸 演劇 舞踊鑑賞</td> <td>15.8</td> <td>16.4</td> <td>12.8</td> <td>12.5</td> </tr> <tr> <td>音楽会などによるクラシック音楽鑑賞</td> <td>8.1</td> <td>9.6</td> <td>9.0</td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会生活基礎調査（総務省統計局：注 1）</p>	種類	全国平成 8年	全国平成 13年	札幌大都市圏 (注 2)平成 8年	札幌大都市圏 (注 2)平成 13年	美術鑑賞	21.1	20.5	21.4	22.3	演芸 演劇 舞踊鑑賞	15.8	16.4	12.8	12.5	音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	8.1	9.6	9.0	11.7				
種類	全国平成 8年	全国平成 13年	札幌大都市圏 (注 2)平成 8年	札幌大都市圏 (注 2)平成 13年																					
美術鑑賞	21.1	20.5	21.4	22.3																					
演芸 演劇 舞踊鑑賞	15.8	16.4	12.8	12.5																					
音楽会などによるクラシック音楽鑑賞	8.1	9.6	9.0	11.7																					
<p>伝統文化・文化遺産等の保全と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化の進展の中で都市の個性や魅力の重要性が増している。</li> <li>・札幌の歴史，伝統文化，文化遺産などを大切にするとともに，これらを基礎に新たな文化を創造，発信していくことが重要になっている。</li> </ul>																									

（注 1）社会生活基本調査について

社会生活基本調査は，総務省統計局が，国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し，国民生活の実態を明らかにすることにより，各種行政施策の基礎資料を得ることを目的として，昭和 51 年の第 1 回調査以来 5 年ごとに実施しており，平成 13 年 10 月の調査が 6 回目に当たる。

（注 2）札幌大都市圏について

札幌大都市圏とは，中心市となる札幌市及びこれに社会・経済的に結合している周辺市町村によって構成される。周辺市町村は以下のとおり。

小樽市，岩見沢市，江別市，千歳市，恵庭市，北広島市，石狩市，当別町，新篠津村，厚田村，余市町，北村，栗沢町，南幌町，由仁町，長沼町，栗山町，月形町，追分町

（注 3）教育文化会館について

平成 14 年度は改修工事で約 1 か月のみの利用。

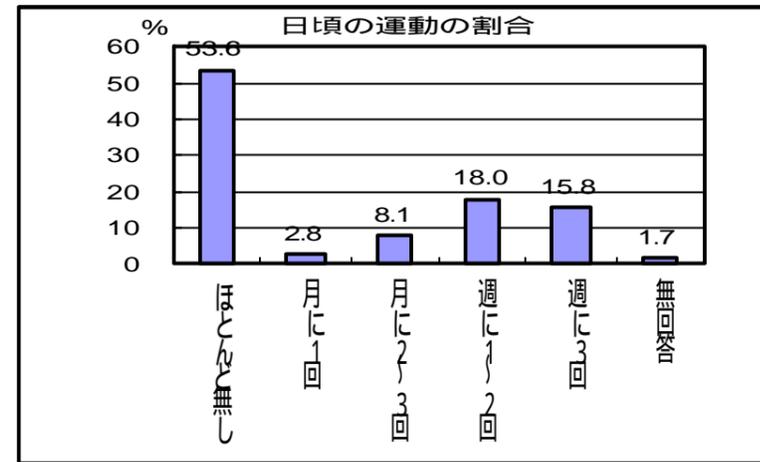
現 状 と 課 題

参 考 デ ー タ

コミュニティ・スポーツの基盤づくり

- ・充実した自由時間の実現や健康・生きがいづくりなどから，市民のスポーツに対する志向は高まり，いわゆる競技種目に加え，パークゴルフなどのニュースポーツに取り組む人々が増え，スポーツが身近なものになってきている。
- ・また，体育館やグラウンドを利用した家族のスポーツ活動はアウトドアの活動などくらべて少ない傾向となっている。
- ・そこで，スポーツ活動へのニーズの多様化や，新たなスポーツ観が生まれている中で，生涯スポーツ，コミュニティスポーツの基盤となり，競技力の向上にもつながるような，総合型地域スポーツクラブ（注1）などのしくみづくりが求められている。

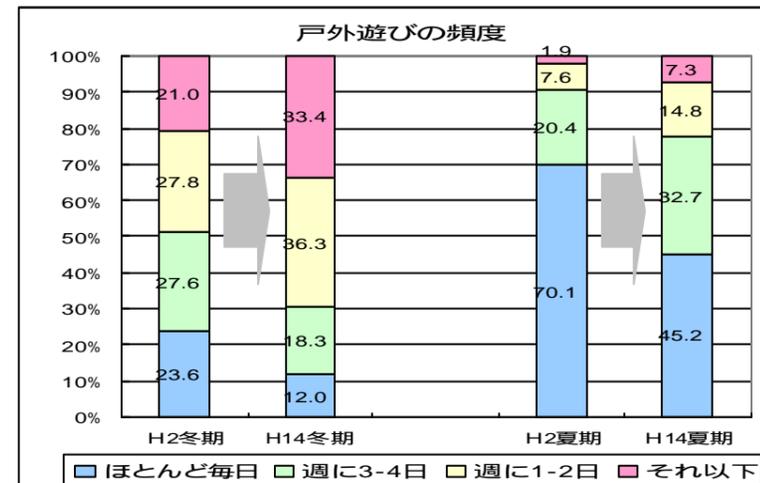
（注1）主にヨーロッパ諸国などにみられる地域スポーツクラブの形態で，地域において，子どもから高齢者まで様々なスポーツを愛好する人々が参加できる，総合的なスポーツクラブ



札幌市健康づくり基本計画に関する市民意識調査（平成12年）

ウィンタースポーツや屋外活動の推進

- ・子どもたちのスポーツ活動の機会が減少するとともに，身近な外遊びの場が不足し，特に冬のスポーツ活動が停滞傾向にあることが，体力・運動能力の低下とともに問題となっている。
- ・そこで，ウィンタースポーツに重点的に力を入れるとともに，健康づくりとスポーツ振興は連携してとりくむことが効果的であることから，「身体づくり」をライフスタイルに取り込むために，地域のスポーツ施設や医療関係との連携を図る必要がある。

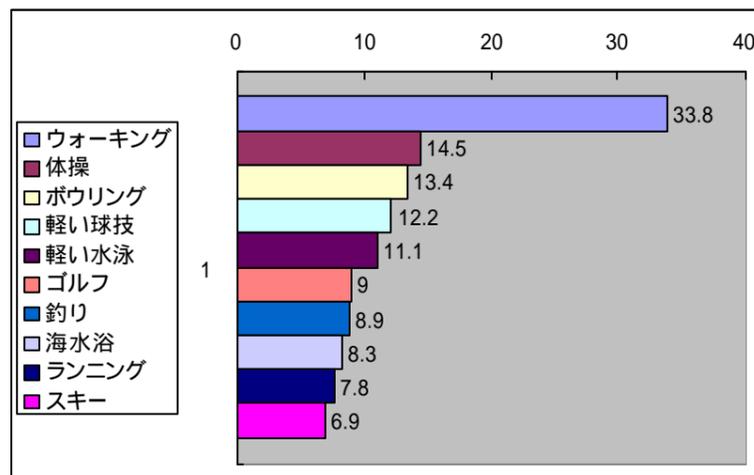


小学生の冬期公園利用意識の変化（寒冷地技術シンポジウム2002）

トップスポーツの活用とスポーツ活動の広がり

- ・不況などの影響により企業運動部が休廃部するなどの状況から，学校段階で育った優秀な選手たちの受け皿となる活動場所が不足するなど，競技力の向上に与える影響は大きいものがある。
- ・また，スポーツ観戦を楽しむことやスポーツイベント運営を手伝うなど，「みる」「支える」という形での参加もスポーツ活動として捉えるようになっており，スポーツへのかかわり方に広がりが見られている。
- ・さらに，身近にプロスポーツがあることは，その活躍がまちの誇りや元気の源となるなど，市民の財産となっている。
- ・そこで，スポーツ振興の観点からも効果的である地域密着のトップスポーツを活用したまちづくりを進める必要がある。

この1年間に行った運動種目（20歳以上）



内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」（平成12年）

現 状 と 課 題

子どもたちをめぐる状況

- ・現在の子どもたちは、情報通信手段に親しみ国際交流やボランティア活動に強い関心をもつなど、従来に比べて積極的な面を多くもっている一方で、人間関係をつくる力が弱いなどの社会性の不足や倫理観、規範意識が希薄になっているといった問題も併せ持っている。
- ・また、学ぶことの目的意識や自ら学ぼうとする意欲が低下している。
- ・今後は、子どもたちの良い特性を一層伸ばすとともに、社会の変化に対応できる教育内容や教育環境を整え、子どもたちの生きる力を育てることが大切である。

学校、家庭、地域社会及び行政の連携

- ・社会の変化やライフスタイルの変容は、子どもに対する親の過保護や無関心を招くとともに、地域社会の連帯感を薄め、家庭や地域社会の教育力が十分に発揮されない状況にある。
- ・また、非行やいじめ、不登校も依然として存在している。
- ・今後は、学校、家庭、地域社会及び行政が、それぞれの役割を果たすとともに、十分な連携を図ることが必要である。

子どもの社会性と目的意識

- ・少子化や核家族化にともなう、子ども同士、特に年齢が異なる子ども同士の交流機会の減少などから、子どもの社会性がはぐくまれにくくなっている。
- ・また、社会全体が大きな転換期を迎え、大人だけでなく、子どもたちも夢や目標を築くことが難しくなっている。
- ・今後は、子どもたちが社会性を身につけることができるように、人と協調し人を思いやる心をはぐくんでいくことや、自ら夢や目標を設定しそれに向かって粘り強く取り組む、たくましい心身を持てるようにすることが求められている。

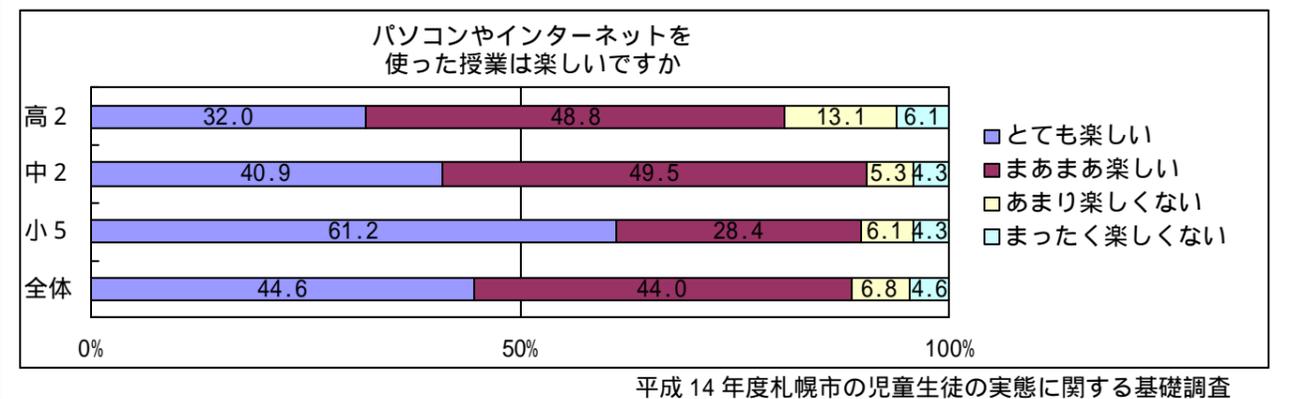
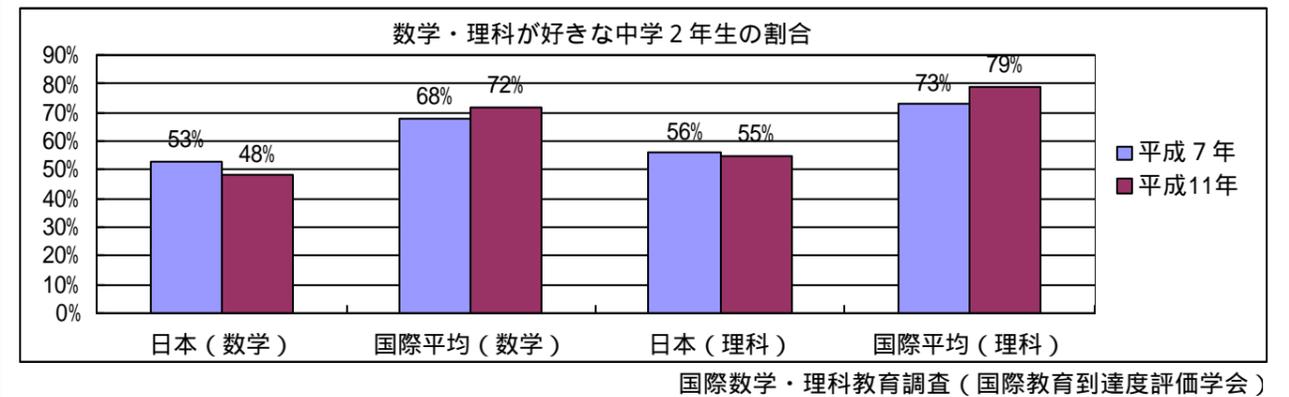
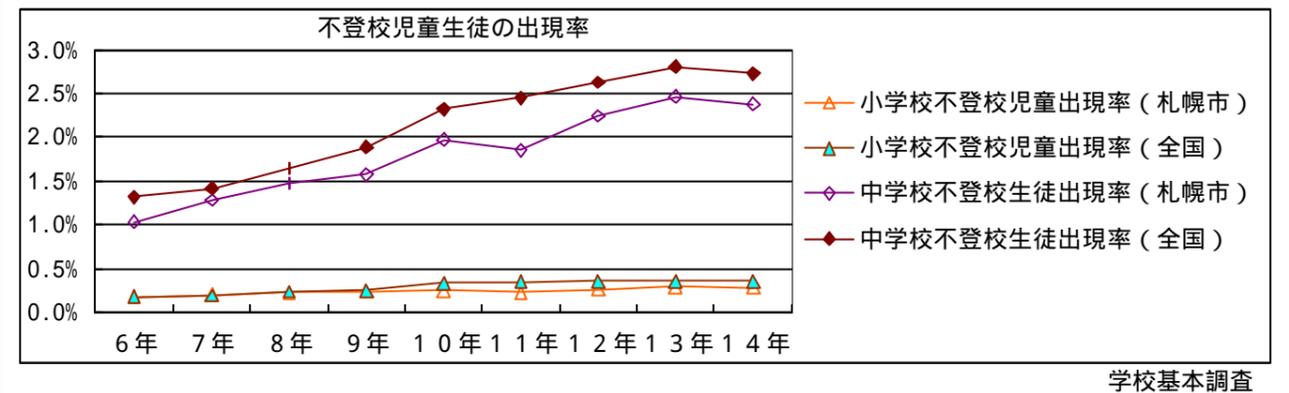
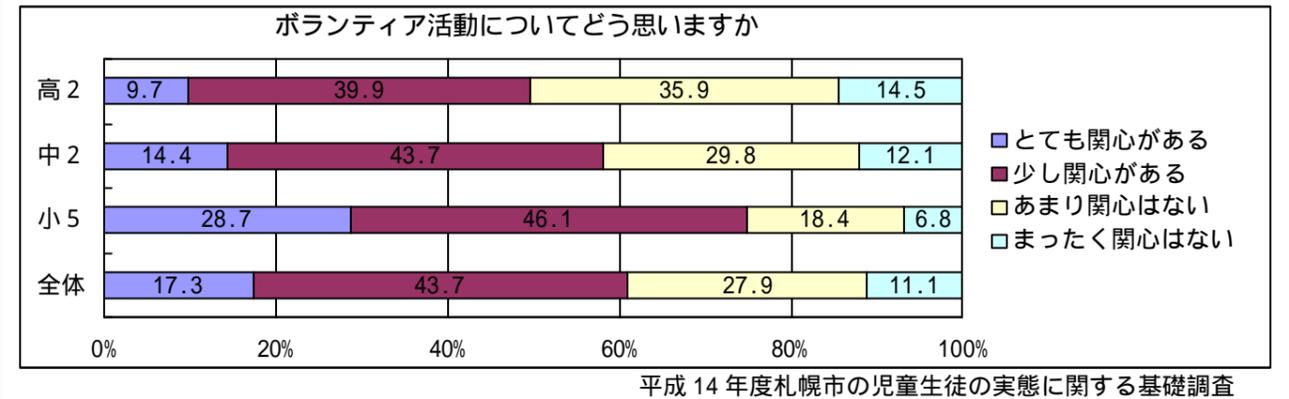
学ぶ意欲

- ・学ぶ意欲の低下が、初等中等教育段階から高等教育段階まで及んでいる。
- ・今後は、生涯にわたって自ら学んでいく意欲を持ち続けるために、一人ひとりの個性や能力に応じた教育を行うなど、子どもたちから学ぶ楽しさを実感できるようにすることが大切である。

社会の変化への対応

- ・国際化、情報化、科学技術の進展や環境問題への関心の高まりなど、様々な面で、社会は大きく変化している。
- ・今後は、社会の変化により一層的確に対応することが重要となる。

参 考 デ ー タ



【基本目標】ゆたかな心と創造性あふれる人を育む街さっぽろ

【重点戦略課題】さっぽろを支え、発信する人づくり

現 状 と 課 題	参 考 デ ー タ																											
<p>市民の学習や活動の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化や情報化の進展，自由時間の増大など，社会の成熟化に伴い，幅広い年齢層の市民が自己研鑽や社会貢献など様々な目的を持って，学習や活動に取り組んでいる。</li> <li>・今後は，市民のニーズに対応したより高度で多様な学習機会の提供や，その成果を発揮するための環境づくりが必要である。</li> </ul>	<p>学習や活動（趣味・スポーツを含む）をしている分野について</p> <table border="1"> <caption>生涯学習に関する市民アンケート調査結果（教育委員会）</caption> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>平成12年</th> <th>平成20年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>スポーツ, 体育</td><td>42%</td><td>22%</td></tr> <tr><td>趣味, 芸術, 技芸</td><td>52%</td><td>25%</td></tr> <tr><td>健康, 生活等</td><td>35%</td><td>15%</td></tr> <tr><td>一般教養</td><td>32%</td><td>12%</td></tr> <tr><td>環境等今日的問題</td><td>25%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>職業上の技能, 資格</td><td>28%</td><td>10%</td></tr> <tr><td>ボランティア等</td><td>18%</td><td>5%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2%</td><td>2%</td></tr> </tbody> </table>	分野	平成12年	平成20年	スポーツ, 体育	42%	22%	趣味, 芸術, 技芸	52%	25%	健康, 生活等	35%	15%	一般教養	32%	12%	環境等今日的問題	25%	10%	職業上の技能, 資格	28%	10%	ボランティア等	18%	5%	その他	2%	2%
分野	平成12年	平成20年																										
スポーツ, 体育	42%	22%																										
趣味, 芸術, 技芸	52%	25%																										
健康, 生活等	35%	15%																										
一般教養	32%	12%																										
環境等今日的問題	25%	10%																										
職業上の技能, 資格	28%	10%																										
ボランティア等	18%	5%																										
その他	2%	2%																										
<p>市民ニーズと学習環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の価値観やライフスタイルが多様化する中で，様々な学習や活動に取り組む市民が増加している傾向にある。</li> <li>・今後は，市民の多様なニーズに対応した学習環境を整備し，その内容を充実していくことが必要である。</li> </ul>	<p>札幌市内のNPO法人数の推移（各年度末現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>法人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>10年度</td><td>2</td></tr> <tr><td>11年度</td><td>40</td></tr> <tr><td>12年度</td><td>82</td></tr> <tr><td>13年度</td><td>136</td></tr> <tr><td>14年度</td><td>193</td></tr> </tbody> </table> <p>北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課</p>	年度	法人数	10年度	2	11年度	40	12年度	82	13年度	136	14年度	193															
年度	法人数																											
10年度	2																											
11年度	40																											
12年度	82																											
13年度	136																											
14年度	193																											
<p>NPOなどによる多様な公益活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の保全や循環型社会への転換，ボランティア活動への参加など，今日的課題への対応が求められる中で，まちづくりをはじめ多様な分野で，NPOなどによる自主的な公益活動が活発化している。</li> <li>・今後は，NPOなどにより一層連携を図りながら，市民が生涯を通じ学び，その成果を発揮できる環境づくりを進めることが必要である。</li> </ul>	<p>札幌市内のNPO法人の活動分野（平成15年8月31日）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動分野</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>保健, 医療, 福祉</td><td>47.8%</td></tr> <tr><td>まちづくり</td><td>11.6%</td></tr> <tr><td>文化, 芸術, スポーツ</td><td>10.7%</td></tr> <tr><td>環境保全</td><td>8.9%</td></tr> <tr><td>社会教育</td><td>6.7%</td></tr> <tr><td>子供の健全育成</td><td>5.8%</td></tr> <tr><td>その他6分野</td><td>8.5%</td></tr> </tbody> </table> <p>北海道環境生活部生活文化・青少年室生活振興課</p>	活動分野	割合	保健, 医療, 福祉	47.8%	まちづくり	11.6%	文化, 芸術, スポーツ	10.7%	環境保全	8.9%	社会教育	6.7%	子供の健全育成	5.8%	その他6分野	8.5%											
活動分野	割合																											
保健, 医療, 福祉	47.8%																											
まちづくり	11.6%																											
文化, 芸術, スポーツ	10.7%																											
環境保全	8.9%																											
社会教育	6.7%																											
子供の健全育成	5.8%																											
その他6分野	8.5%																											
<p>高等教育機関における教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・札幌圏には，大学など多くの高等教育機関が集積しており，優れた人材を生み出すことで，地域の活気の源泉にもなっている。</li> <li>・今後，この恵まれた環境をこれまで以上に生かしていくために，大学などが自らの特色を生かした魅力ある学校づくりを進め，多様な学習機会を提供することが求められている。</li> </ul>	<p>大学・短大入学定員（人口1万人当たり）（市内と全道の比較：平成15年4月時点）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>定員種別</th> <th>札幌市</th> <th>全道</th> <th>全道（札幌市を除く）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学入学定員 / 1万人</td> <td>49.5</td> <td>33.9</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>短大入学定員 / 1万人</td> <td>13.3</td> <td>9.0</td> <td>6.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>北海道総務部学事課</p>	定員種別	札幌市	全道	全道（札幌市を除く）	大学入学定員 / 1万人	49.5	33.9	26.5	短大入学定員 / 1万人	13.3	9.0	6.9															
定員種別	札幌市	全道	全道（札幌市を除く）																									
大学入学定員 / 1万人	49.5	33.9	26.5																									
短大入学定員 / 1万人	13.3	9.0	6.9																									
<p>高等教育機関と地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等教育機関は，高度で専門的な教育を行うための人材や施設を有している。</li> <li>・今後，社会人のリカレント教育などにその人材や施設を生かし，地域貢献を進めるとともに，大学間などのネットワークづくりに取り組むことが求められている。</li> </ul>																												